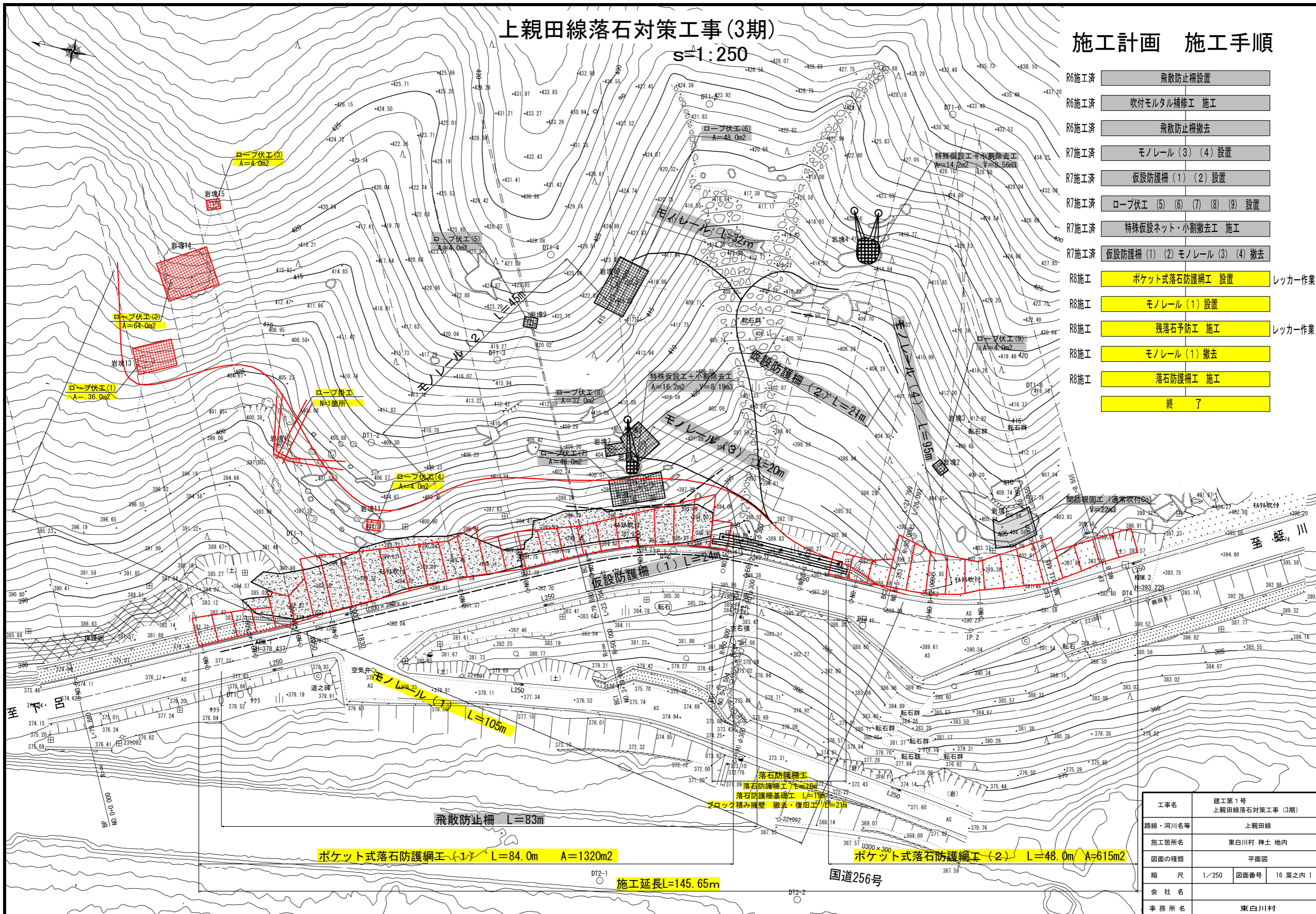


上親田線落石対策工事(3期)

s=1:250

施工計画 施工手順

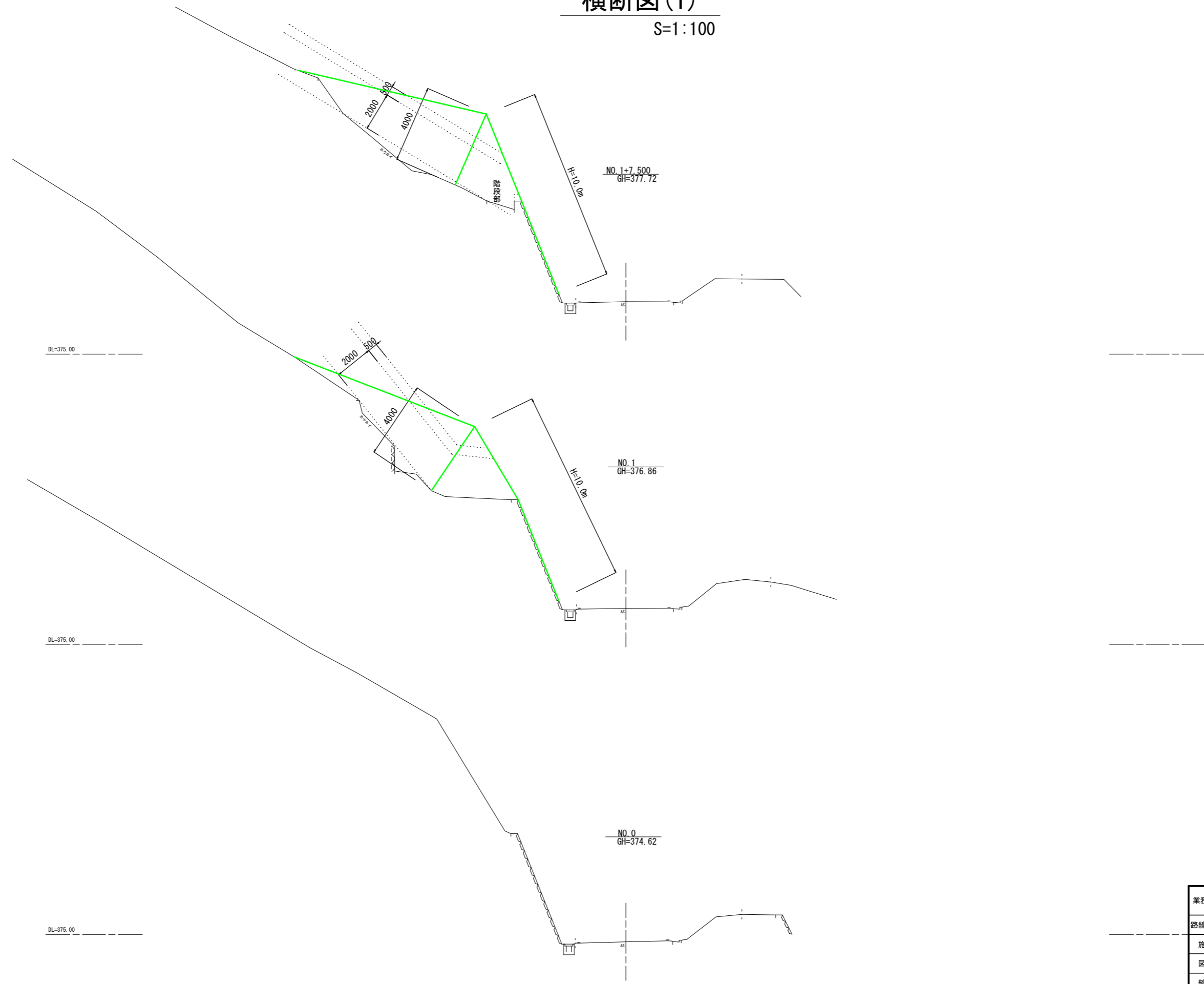
- R6施工済 飛散防止柵設置
- R6施工済 吹付モルタル補修工 施工
- R6施工済 飛散防止柵撤去
- R7施工済 モノレール(3)(4)設置
- R7施工済 仮設防護柵(1)(2)設置
- R7施工済 ロープ伏工(5)(6)(7)(8)(9)設置
- R7施工済 特殊仮設ネット・小割撤去工 施工
- R7施工済 仮設防護柵(1)(2)モノレール(3)(4)撤去
- R8施工 **ポケット式落石防護網工 設置** レッカー作業
- R8施工 **モノレール(1)設置**
- R8施工 **残落石予防工 施工** レッカー作業
- R8施工 **モノレール(1)撤去**
- R8施工 **落石防護柵工 施工**
- 終了**



工事名	建工第1号 上親田線落石対策工事(3期)
路線・河川名等	上親田線
施工箇所名	東白川村 神土 地内
図面の種類	平面図
縮尺	1/250
図面番号	16 葉之内 1
会社名	
事務所名	東白川村

横断図(1)

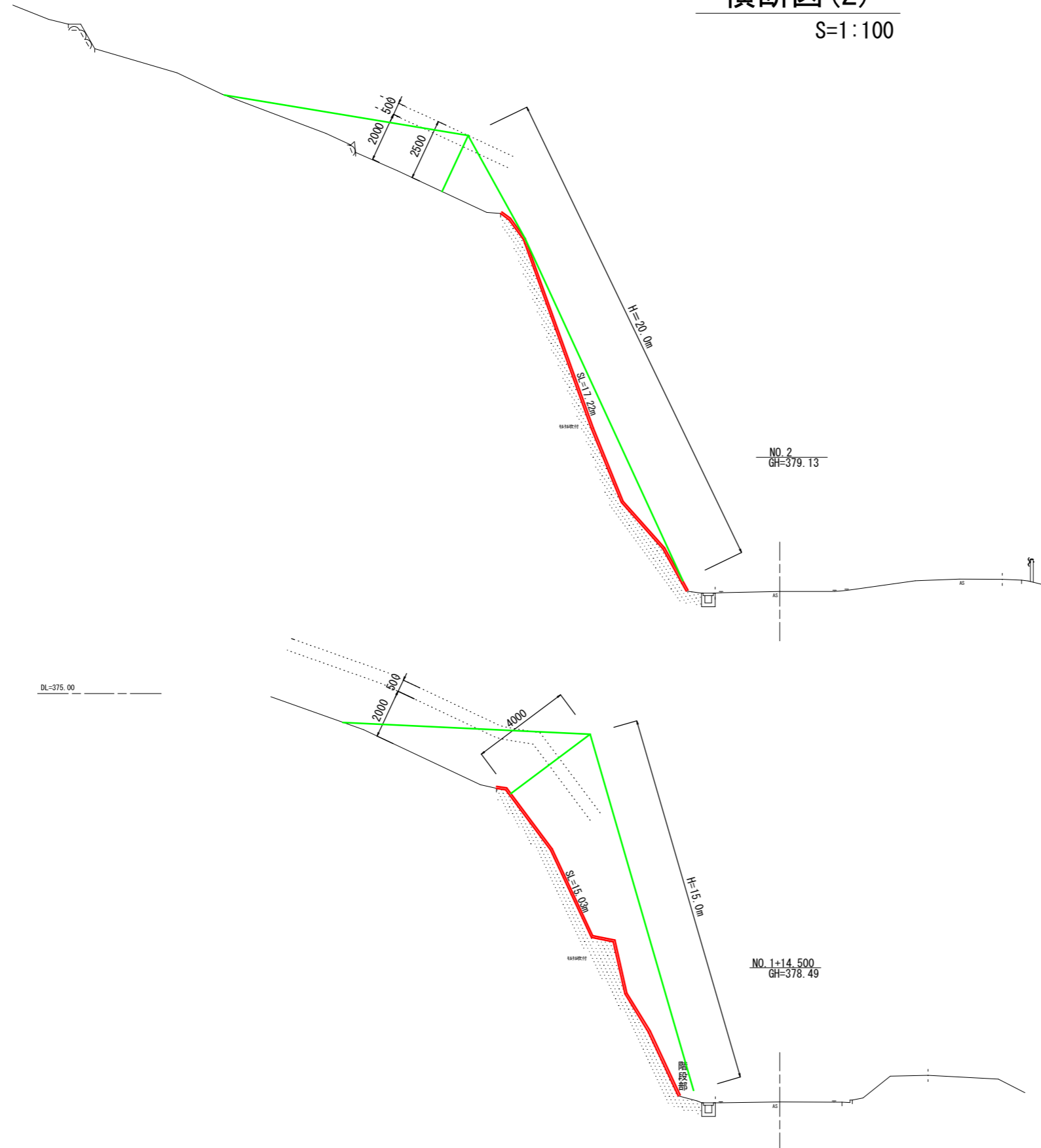
S=1:100



業務名/工事名	建工第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	横断図(1)		
縮尺	1/100	図面番号	16 葉之内 2
会社名			
事務所名	東白川村		

横断図(2)

S=1:100



NO. 2
GH=379.13

NO. 1+14.500
GH=378.49

業務名/工事名	建字第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	横断図(2)		
縮尺	1/100	図面番号	16 葉之内 3
会社名			
事務所名	東白川村		

横断図(3)

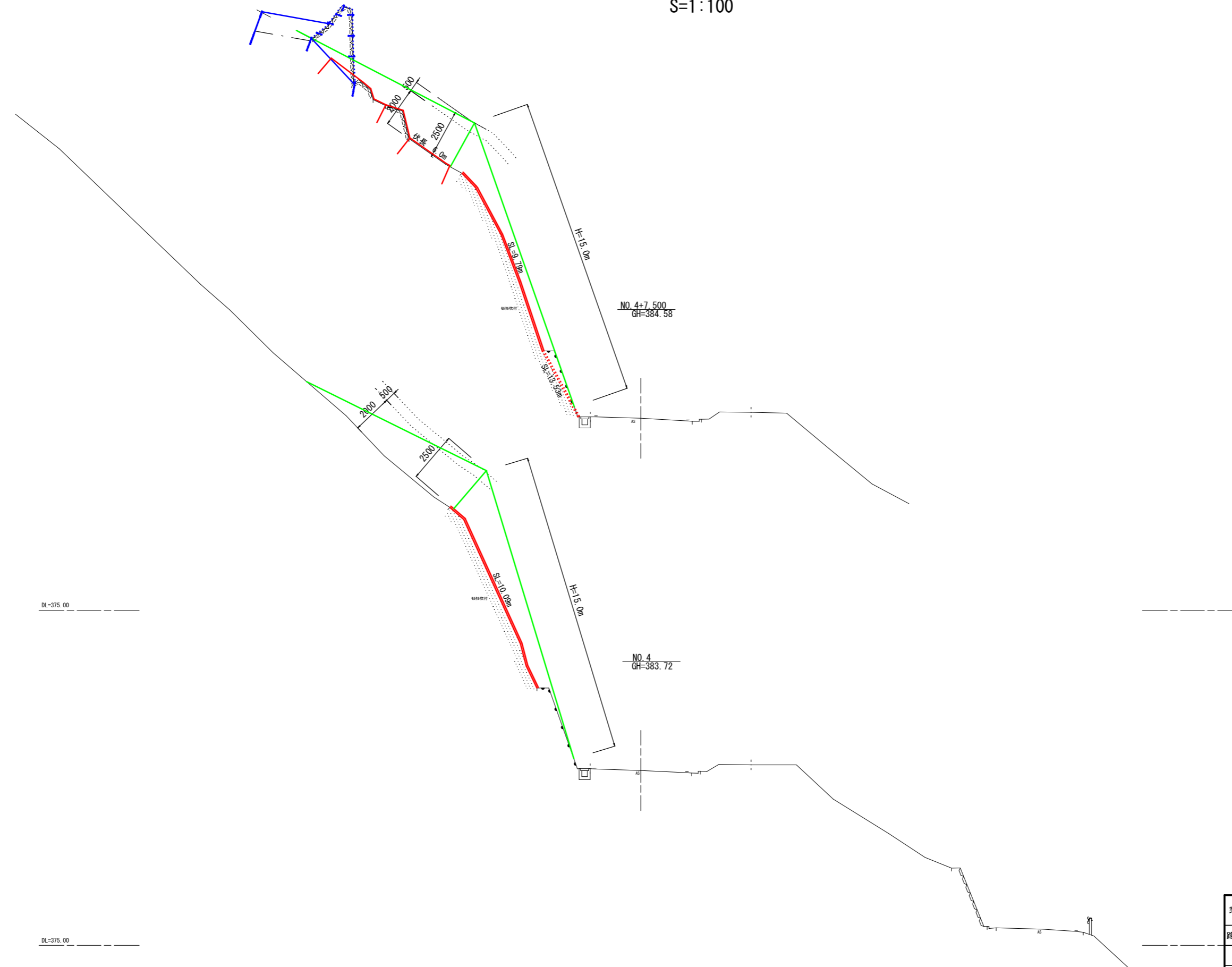
S=1:100



業務名/工事名	建字第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	横断図(3)		
縮尺	1/100	図面番号	16 葉之内 4
会社名			
事務所名	東白川村		

横断図(4)

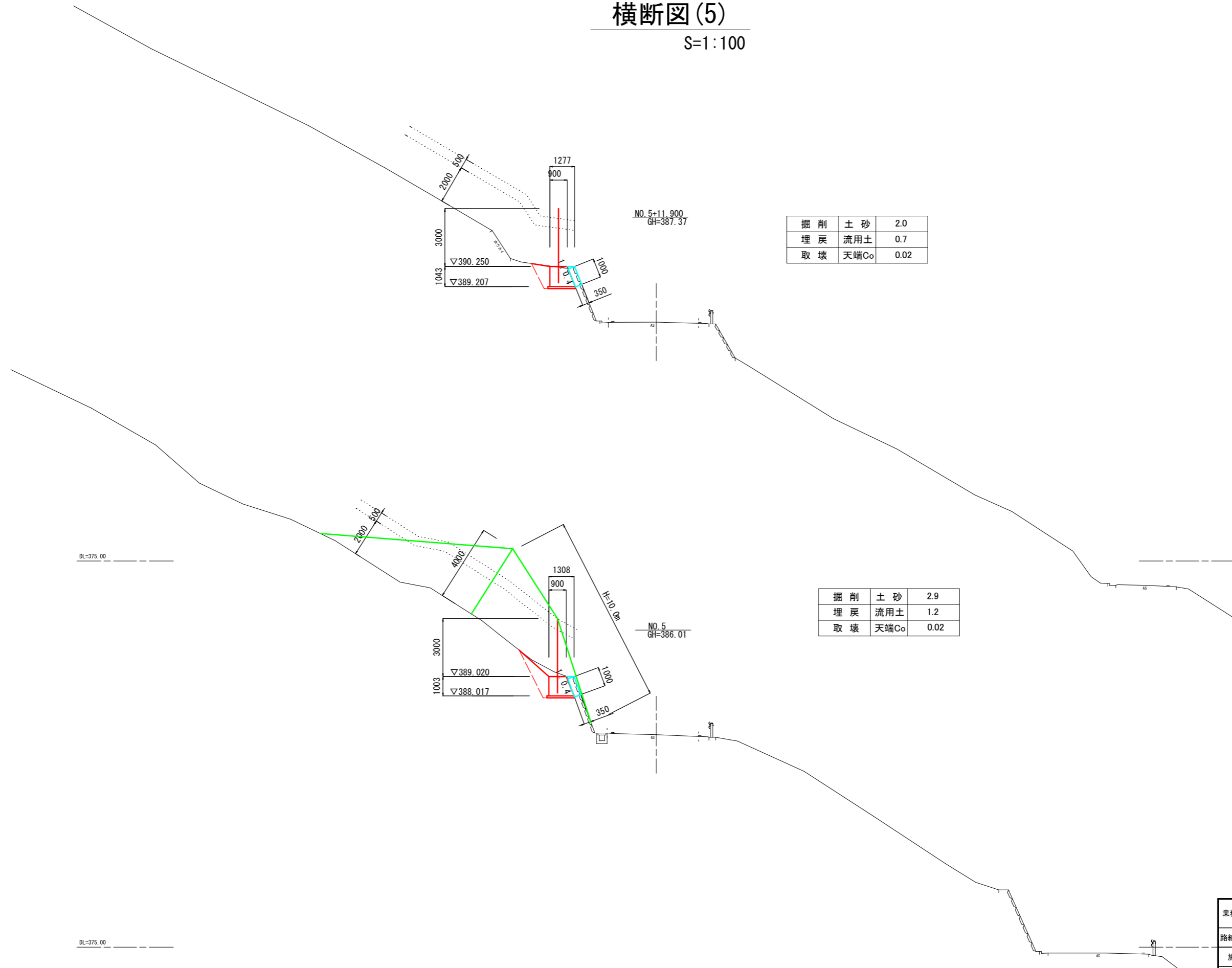
S=1:100



業務名/工事名	建字第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	横断図(4)		
縮尺	1/100	図面番号	16 葉之内 5
会社名			
事務所名	東白川村		

横断図(5)

S=1:100



掘削	土砂	2.0
埋戻	流用土	0.7
取壊	天端Co	0.02

NO.5+11.900
GH=387.37

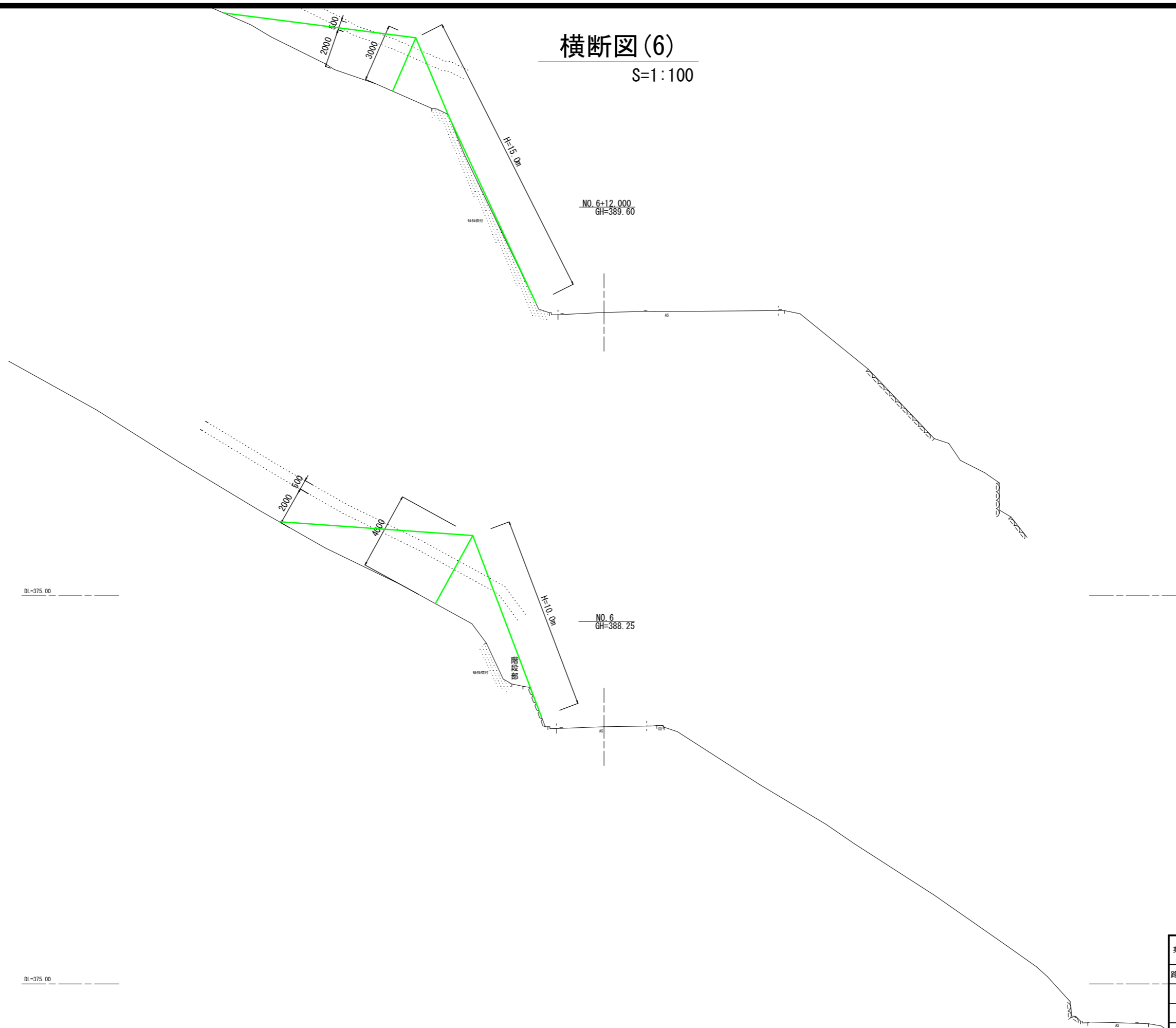
掘削	土砂	2.9
埋戻	流用土	1.2
取壊	天端Co	0.02

NO.5
GH=386.01

業務名/工事名	建字第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	横断図(5)		
縮尺	1/100	図面番号	16 葉之内 6
会社名			
事務所名	東白川村		

横断図(6)

S=1:100



業務名/工事名	建字第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	横断図(6)		
縮尺	1/100	図面番号	16 葉之内 7
会社名			
事務所名	東白川村		

横断図(7)

S=1:100

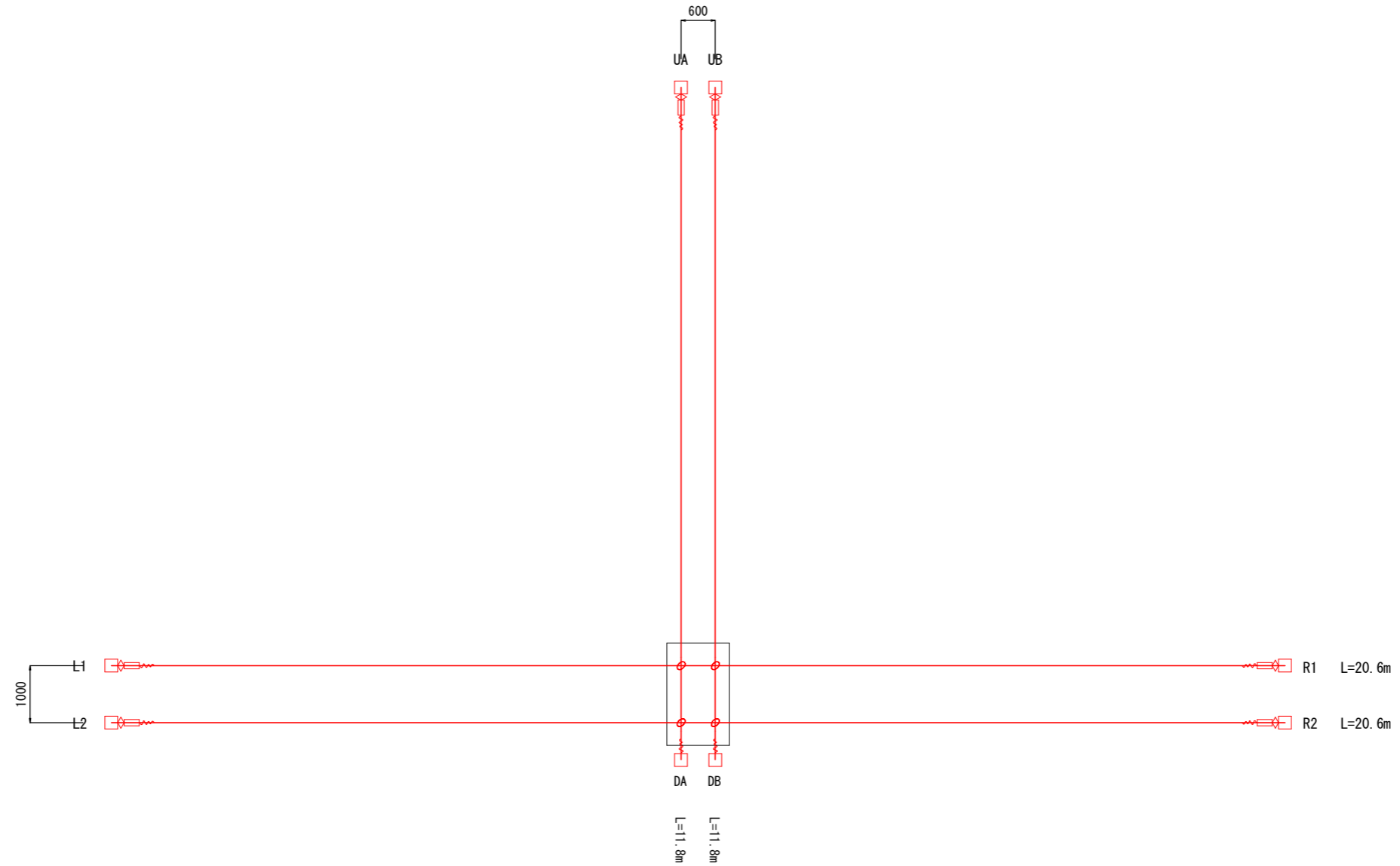


業務名/工事名	建字第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	横断図(7)		
縮尺	1/100	図面番号	16 葉之内 8
会社名			
事務所名	東白川村		

ロープ掛工展開図

S=1:50

(岩塊12)



ワイヤーロープ掛工 数量表

1箇所当り

名称	規格	単位	数量	摘要	記号
縦ロープ	3×7 ZA/0 12φ	m	23.6		
横ロープ	3×7 ZA/0 12φ	m	41.2		—
岩部用アンカー	D22 (M20) × 1000	本	8		□
巻付グリップ	12φ用	本	8		≡
交点クリップ	50×100	個	4		○
ターンバックル(取付金具含む)	22φ E&E	組	6		□◇

(注 記) 架設面積・部材数量は、
 施工時に現地状況を確認の上、適宜変更すること。
 (設計条件) 横ロープ取付角度30°

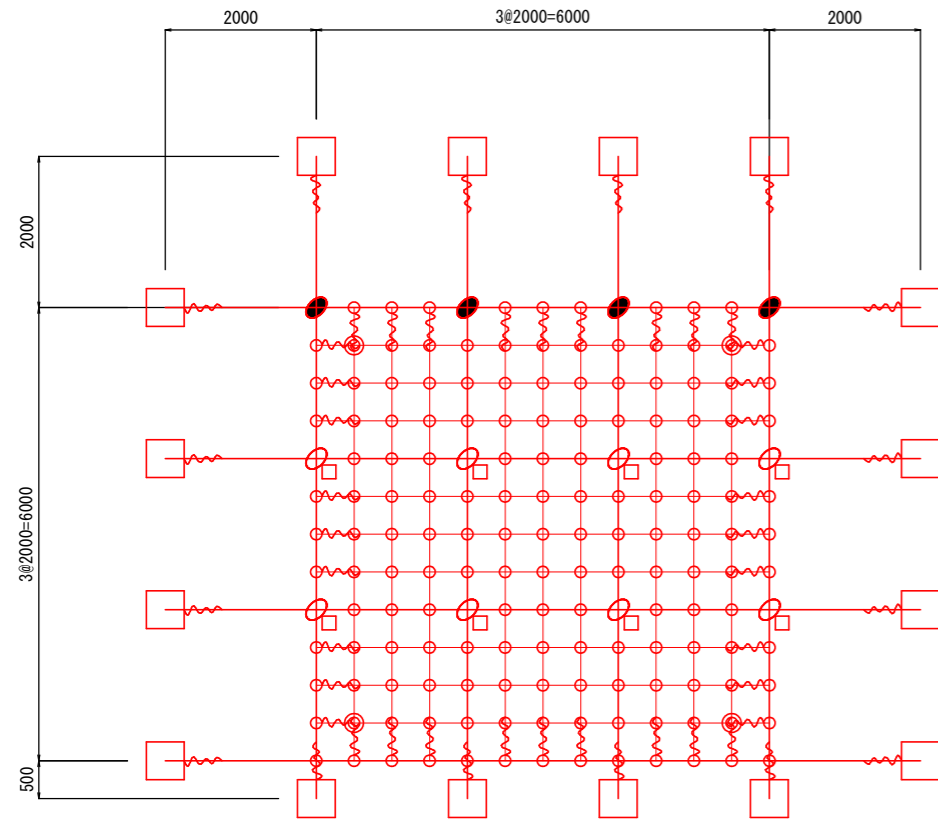
業務名/工事名	建字第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	ロープ掛工展開図		
縮 尺	1/50	図面番号	16 葉之内 10
会 社 名			
事 務 所 名	東白川村		

ロープ伏工展開図 (1)

S = 1 : 50

ロープ伏工 (1)

(岩塊13)

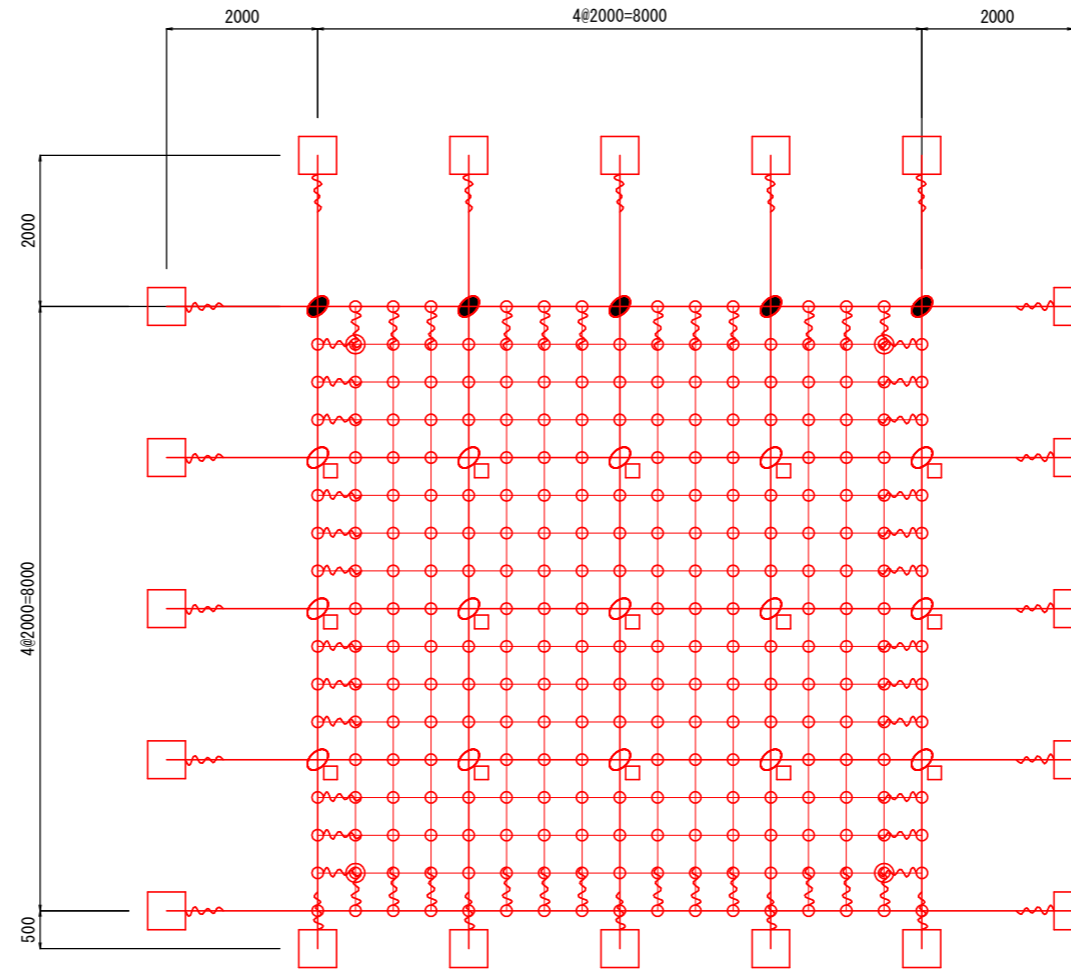


数量表 ロープ伏工 (1)

記号	名称	規格	単位	数量	摘要
	施工面積		m ²	36.0	
—	ワイヤーロープ(主ロープ)	3×7 ZA/0 φ12	m	74.0	
—	ワイヤーロープ(補助ロープ)	3×7 ZA/0 φ12	m	108.0	
	計		m	182.0	
⊗	金網	φ2.6-50×50	m ²	0.0	
■	岩部用アンカー-A	D22(M20)×1000	本	11	セメント付 仕様
■	岩部用アンカー-A	D22(M20)×1500	本	3	セメント付 仕様
○	土中用アンカー-A	耐力25kN以上	本	2	
□	岩部用アンカー-B	D22(M20)×1000	本	5	セメント付 仕様
■	岩部用アンカー-B	D22(M20)×1500	本	2	セメント付 仕様
○	土中用アンカー-B	耐力25kN以上	本	1	
∩	巻付グリッ	φ12用-900	本	50	岩部用
∩	巻付グリッ	φ12用-1100	本	2	土中用
●	交点グリッ	50×100	個	4	
○	交点アンカーグリッ	50×100	個	8	
◎	クロスクリップ (大)	4.5t×75×60	個	4	
○	クロスクリップ (小)	3.2t×65×60	個	153	
≡	結合コイル	φ3.2×50×300	個	0	

ロープ伏工 (2)

(岩塊14)

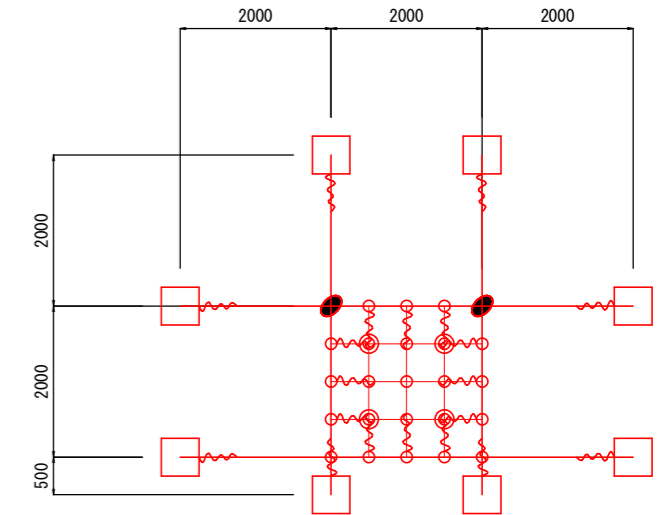


数量表 ロープ伏工 (2) (6)

記号	名称	規格	単位	数量	摘要
	施工面積		m ²	64.0	
—	ワイヤーロープ(主ロープ)	3×7 ZA/0 φ12	m	112.5	
—	ワイヤーロープ(補助ロープ)	3×7 ZA/0 φ12	m	192.0	
	計		m	304.5	
⊗	金網	φ2.6-50×50	m ²	0.0	
■	岩部用アンカー-A	D22(M20)×1000	本	14	セメント付 仕様
■	岩部用アンカー-A	D22(M20)×1500	本	4	セメント付 仕様
○	土中用アンカー-A	耐力25kN以上	本	2	
□	岩部用アンカー-B	D22(M20)×1000	本	10	セメント付 仕様
■	岩部用アンカー-B	D22(M20)×1500	本	3	セメント付 仕様
○	土中用アンカー-B	耐力25kN以上	本	2	
∩	巻付グリッ	φ12用-900	本	66	岩部用
∩	巻付グリッ	φ12用-1100	本	2	土中用
●	交点グリッ	50×100	個	5	
○	交点アンカーグリッ	50×100	個	15	
◎	クロスクリップ (大)	4.5t×75×60	個	4	
○	クロスクリップ (小)	3.2t×65×60	個	265	
≡	結合コイル	φ3.2×50×300	個	0	

ロープ伏工 (3) (4) (5) (9)

(岩塊15, 岩塊11, 岩塊9, 岩塊2)



数量表 ロープ伏工 (3) (4) (5) (9)

記号	名称	規格	単位	数量	摘要
	施工面積		m ²	4.0	
—	ワイヤーロープ(主ロープ)	3×7 ZA/0 φ12	m	21.0	
—	ワイヤーロープ(補助ロープ)	3×7 ZA/0 φ12	m	12.0	
	計		m	33.0	
⊗	金網	φ2.6-50×50	m ²	0.0	
■	岩部用アンカー-A	D22(M20)×1000	本	5	セメント付 仕様
■	岩部用アンカー-A	D22(M20)×1500	本	2	セメント付 仕様
○	土中用アンカー-A	耐力25kN以上	本	1	
□	岩部用アンカー-B	D22(M20)×1000	本	0	セメント付 仕様
■	岩部用アンカー-B	D22(M20)×1500	本	0	セメント付 仕様
○	土中用アンカー-B	耐力25kN以上	本	0	
∩	巻付グリッ	φ12用-900	本	19	岩部用
∩	巻付グリッ	φ12用-1100	本	1	土中用
●	交点グリッ	50×100	個	2	
○	交点アンカーグリッ	50×100	個	0	
◎	クロスクリップ (大)	4.5t×75×60	個	4	
○	クロスクリップ (小)	3.2t×65×60	個	19	
≡	結合コイル	φ3.2×50×300	個	0	

※ アンカーの型式 (岩部用、土中用) は設置箇所の土質状況により変更すること。
 ※ 設計段階におけるアンカーの算出は、比率にて計上。(図は岩部用で表現)

<Aアンカー>
 岩部用アンカー(L=1.0m) : 70%
 岩部用アンカー(L=1.5m) : 20%
 土中用アンカー : 10%

<Bアンカー>
 岩部用アンカー(L=1.0m) : 70%
 岩部用アンカー(L=1.5m) : 20%
 土中用アンカー : 10%

※ 表土が0.5m程度堆積している箇所では、岩部用アンカー(L=1.5m)を使用する。

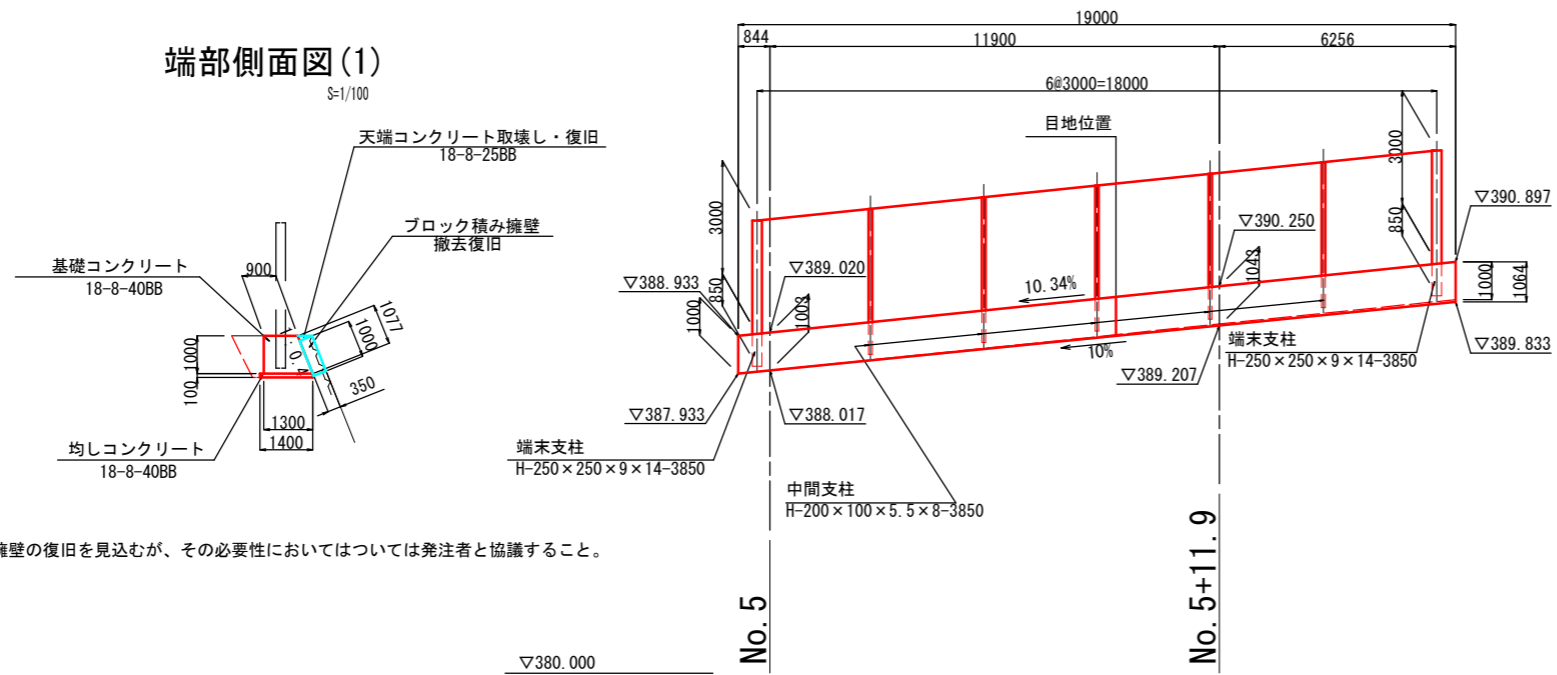
※ 金網仕様はロープ伏工標準図参照

※ 金網は上部折返し 0.2m、重合せ 0.2m

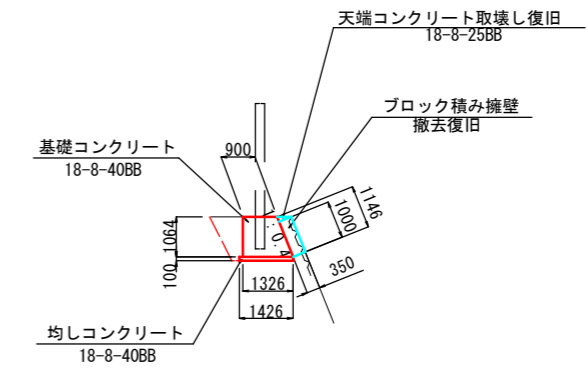
業務名/工事名	建第1号 上親田線落石対策工事 (3期)
路線・河川名等	上親田線
施工箇所名	東白川村 神土 地内
図面の種類	ロープ伏工展開図 (1)
縮尺	1/50
図面番号	16 葉之内 11
会社名	
事務所名	東白川村

落石防護柵工詳細図

展開図
S=1/100



端部側面図(2)
S=1/100



※当計画ではブロック積み擁壁の復旧を見込むが、その必要性においてはつては発注者と協議すること。

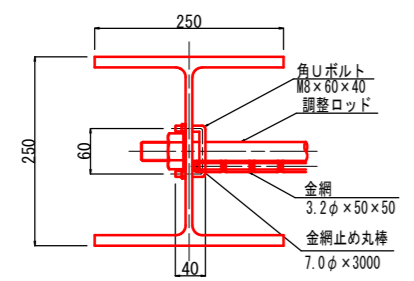
※当計画ではブロック積み擁壁の復旧を見込むが、その必要性においてはつては発注者と協議すること。

部品明細表

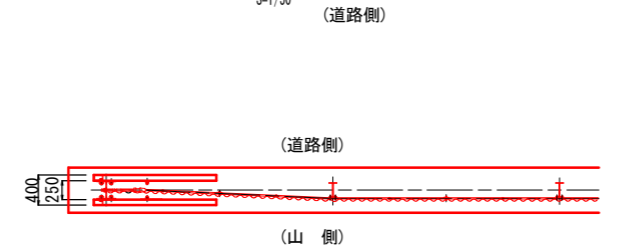
大別	項目		表面処理
	部品名	寸法 (mm)	
ケ 構 成	ワイヤロープ	3×7 18φ	Znめっき
	金網	3.2φ×50×50	Znめっき
	ワイヤ	4.0φ 2本	Znめっき
中 間 支 柱 成	中間支柱	H-200×100×5.5×8	Znめっき
	Uボルト	M12×40×60 M10×30×60	Znめっき
端 末 支 柱 構 成	末端支柱	H-250×250×9×14	Znめっき
	サポート(1)	[-150×75×6.5×10	Znめっき
	サポート(2)	[-100×50×3.2	Znめっき
	ボルト	M27×60	Znめっき
	ボルト	M24×50	Znめっき
	金網止め丸棒	7φ×3000	Znめっき
	角Uボルト	M8×60×40	Znめっき
間 隔 保 持 材	間隔保持材	4.5t×65×980	Znめっき
	Uボルト	M12×40×60	Znめっき

※ボルトM27×60は強度区分8.8とし、その他金具は強度区分4.8とする

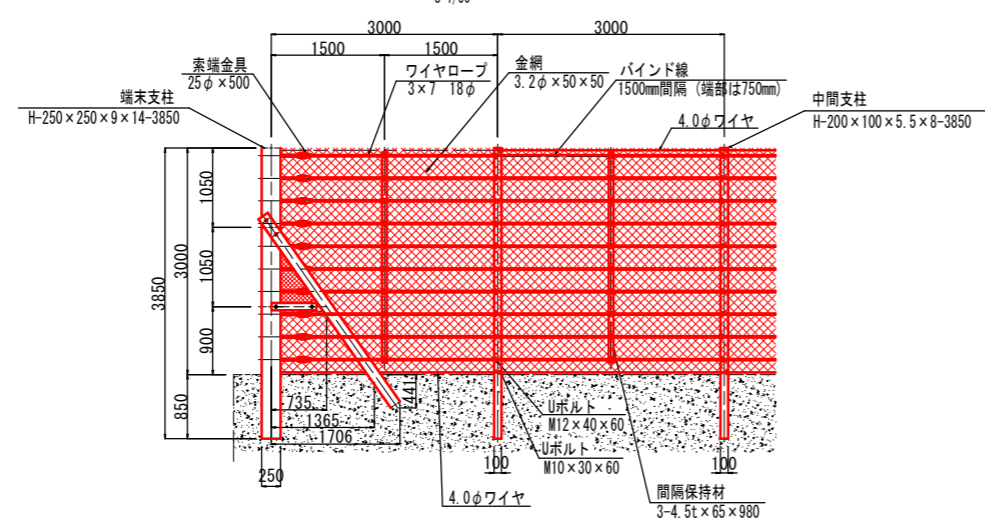
末端支柱金網取付部詳細図
S=1/5



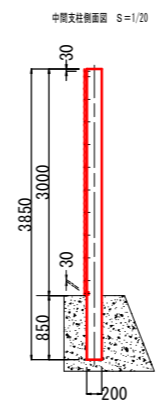
平面図
S=1/50 (道路側)



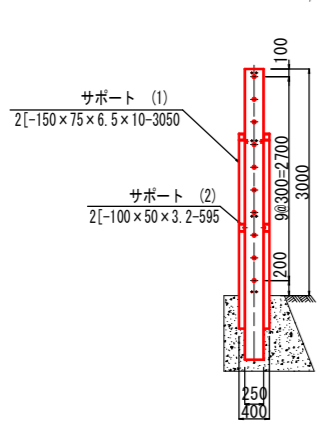
正面図
S=1/50



中間支柱側面図
S=1/50



末端支柱側面図
S=1/50

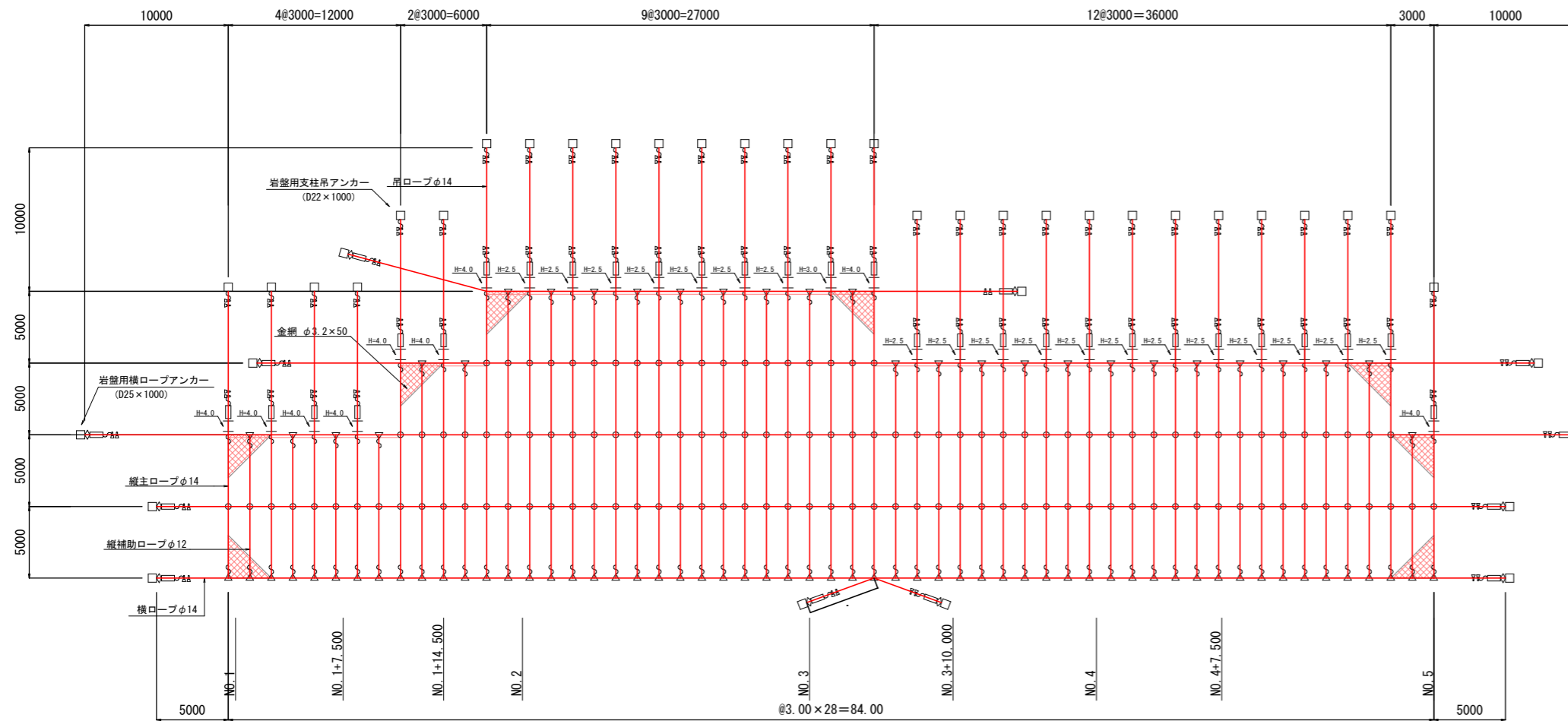


業務名/工事名	建工第1号 上親田線落石対策工事(3期)
路線・河川名等	上親田線
施工箇所名	東白川村 神土 地内
図面の種類	落石防護柵詳細図
縮尺	1/図示 図面番号 16 葉之内 12
会社名	
事務所名	東白川村

落石防護網工展開図 (1)

S=1:200

ポケット式落石防護網工 (1)



名称	仕様・寸法 (mm)	数量	単位	記号
有効架設面積		1320.0	m ²	
金網	3.2φ × 50 × 50-3.3幅 Z-GS4	1470.0	m ²	
吊ロープ	3×7 G/0 14φ Znめっき	290.0	m	
縦ロープ	3×7 G/0 14φ Znめっき	460.0	m	
縦補助ロープ	3×7 G/0 12φ Znめっき	440.0	m	
横ロープ	3×7 G/0 14φ Znめっき	438.0	m	
エクスクリップ	大 Znめっき	123	個	○
三方クリップ	大 Znめっき	85	個	△
巻付グリップ	14φ用 Znめっき	128	本	〰
巻付グリップ	12φ用 Znめっき	56	本	〰
ワイヤクリップ	F20 Znめっき	140	個	□
結合コイル	φ3.2×70×300 Znめっき	1664	個	〰
パイプ式ターンバックル (J&E)	φ22 (W7/8") × 325 Znめっき	41	本	○
ターンバックル取付金具 (小) 岩部用	Znめっき	41	個	◇
ターンバックル取付金具 (大) 土砂部用	Znめっき	0	個	◇
支柱吊アンカー 岩盤用	D22 (M20) × 1000 Znめっき	29	本	□
支柱吊アンカー 土中部用	Znめっき	0	本	□
横ロープアンカー 岩盤用	D25 (M24) × 1000 Znめっき	10	本	□
横ロープアンカー 土中部用	Znめっき	0	本	□
土圧板付アンカー 吊	114.3φ × 4.5-2130 [-300 × 90 × 9 × 13-1000] Znめっき	0	本	○
土圧板付アンカー 岩盤用	114.3φ × 4.5-2130 [-300 × 90 × 9 × 13-1000] Znめっき	0	本	○
岩部用ポケット支柱	H-100 × 100 × 6 × 8-2450 Znめっき	19	本	H2.5
岩部用ポケット支柱	H-100 × 100 × 6 × 8-2950 Znめっき	1	本	H2.5
岩部用ポケット支柱	H-100 × 100 × 6 × 8-3950 Znめっき	9	本	H2.5
土砂部用ポケット支柱	H-100 × 100 × 6 × 8-2450 Znめっき	0	本	H2.5
支柱用アンカー 岩盤用	D22 (M20) × 1000 Znめっき	29	本	□
支柱用アンカー 土中部用	PSP-1100 (φ114.3 × 4.5 × 1100) Znめっき	0	本	□
補助 (縦止め) アンカー 岩盤用	D22 (M20) × 1000 Znめっき	2	本	□
補助 (縦止め) アンカー 土中部用	Znめっき	0	本	□

設計積算基準

- 金網上端折り曲げ 0.2m
- 結合コイル使用数量
 縦ロープ 5mに8ヶ
 縦補助ロープ 5mに4ヶ
 横ロープ 3mに4ヶ
 最上段横ロープ 3mに8ヶ

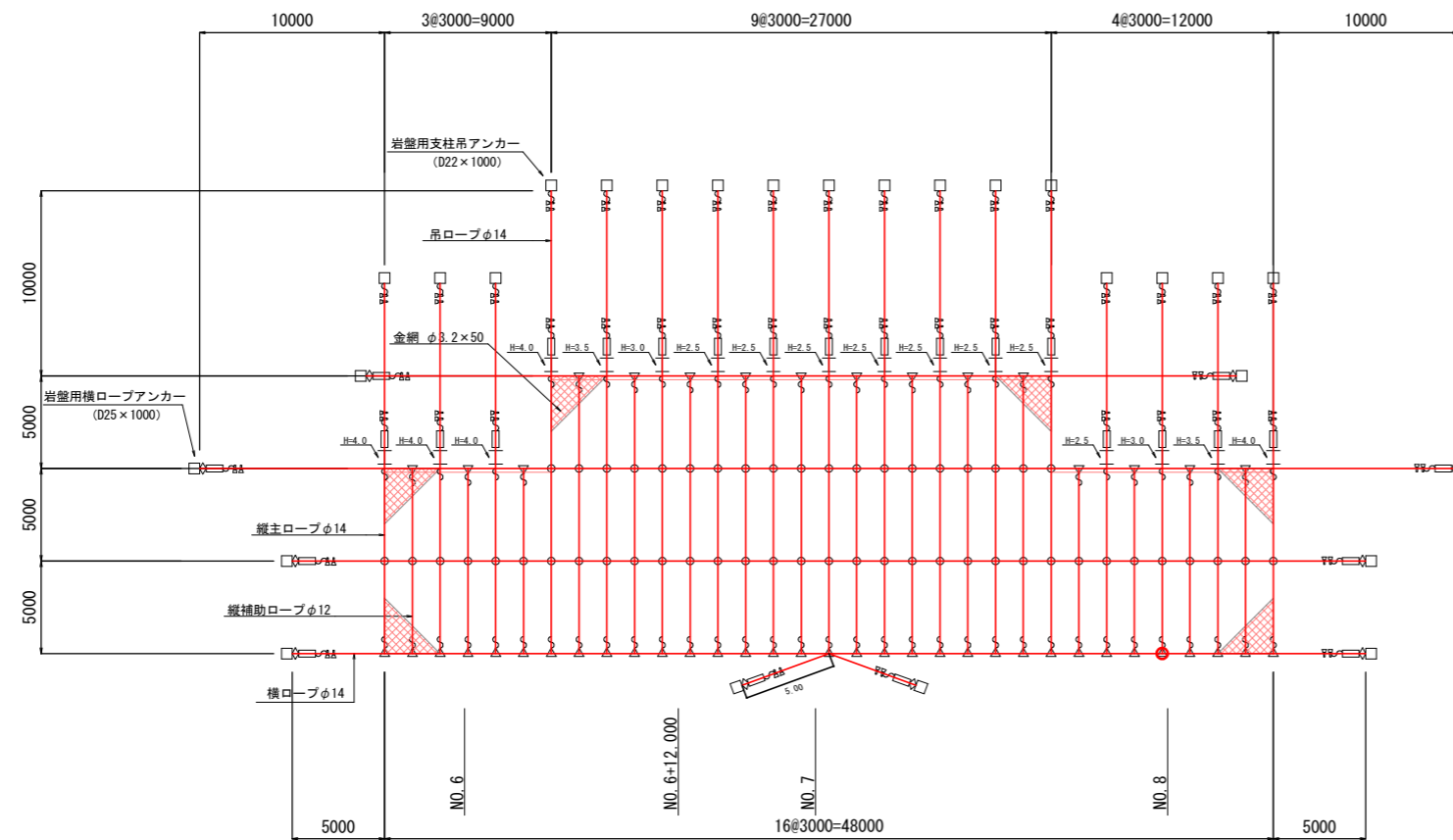
※アンカーは全て岩部用の表記とする。施工時の打設箇所決定時にアンカーを再度選定する。
 ※縦止めアンカーは現地の架設状況によって設置を検討する。

業務名/工事名	建工第1号 上親田線落石対策工事 (3期)
路線・河川名等	上親田線
施工箇所名	東白川村 神土 地内
図面の種類	落石防護網工展開図 (1)
縮尺	1/200 図面番号 16 葉之内 13
会社名	
事務所名	東白川村

落石防護網工展開図 (2)

S=1:200

ポケット式落石防護網工 (2)



名称	仕様・寸法 (mm)	数量	単位	記号
有効架設面積		615.0	m ²	
金網	3.2φ x 50 x 50-3.3幅 Z-GS4	687.0	m ²	
吊ロープ	3 x 7 6/0 14φ Znめっき	170.0	m	
縦ロープ	3 x 7 6/0 14φ Znめっき	220.0	m	
縦補助ロープ	3 x 7 6/0 12φ Znめっき	205.0	m	
横ロープ	3 x 7 6/0 14φ Znめっき	241.0	m	—
エクスクリップ	大 Znめっき	52	個	○
三方クリップ	大 Znめっき	49	個	△
巻付グリッ	14φ用 Znめっき	78	本	⋄
巻付グリッ	12φ用 Znめっき	32	本	⋄
ワイヤクリップ	F20 Znめっき	88	個	⋄
結合コイル	φ3.2 x 70 x 300 Znめっき	808	個	—
パイプ式ターンバックル (J&E)	φ22 (W7/8") x 325 Znめっき	27	本	—
ターンバックル取付金具 (小) 岩部用	Znめっき	27	個	◇
ターンバックル取付金具 (大) 土砂部用	Znめっき	0	個	◇
支柱吊アンカー 岩部用	D22 (M20) x 1000 Znめっき	17	本	□
支柱吊アンカー 土中部用	Znめっき	0	本	□
横ロープアンカー 岩部用	D25 (M24) x 1000 Znめっき	8	本	□
横ロープアンカー 土中部用	Znめっき	0	本	□
土圧板付アンカー 吊	114.3φ x 4.5-2130 [-300 x 90 x 9 x 13-1000] Znめっき	0	本	○
土圧板付アンカー 岩部用	114.3φ x 4.5-2130 [-300 x 90 x 9 x 13-1000] Znめっき	0	本	○
岩部用ポケット支柱	H-100 x 100 x 6 x 8-2450 Znめっき	8	本	⊥
岩部用ポケット支柱	H-100 x 100 x 6 x 8-2950 Znめっき	2	本	⊥
岩部用ポケット支柱	H-100 x 100 x 6 x 8-3450 Znめっき	2	本	⊥
岩部用ポケット支柱	H-100 x 100 x 6 x 8-3950 Znめっき	5	本	⊥
土砂部用ポケット支柱	H-100 x 100 x 6 x 8-2450 Znめっき	0	本	⊥
支柱用アンカー 岩部用	D22 (M20) x 1000 Znめっき	17	本	□
支柱用アンカー 土中部用	PSP-1100 (φ114.3 x 4.5 x 1100) Znめっき	0	本	□
補助 (縦止め) アンカー 岩部用	D22 (M20) x 1000 Znめっき	2	本	□
補助 (縦止め) アンカー 土中部用	Znめっき	0	本	□

設計積算基準

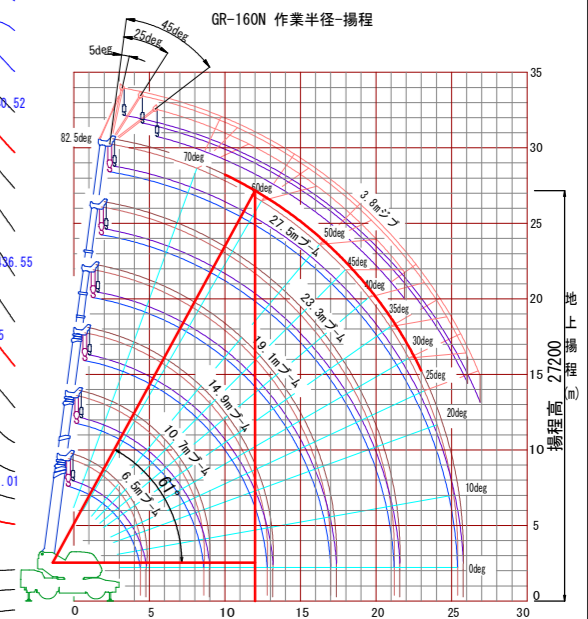
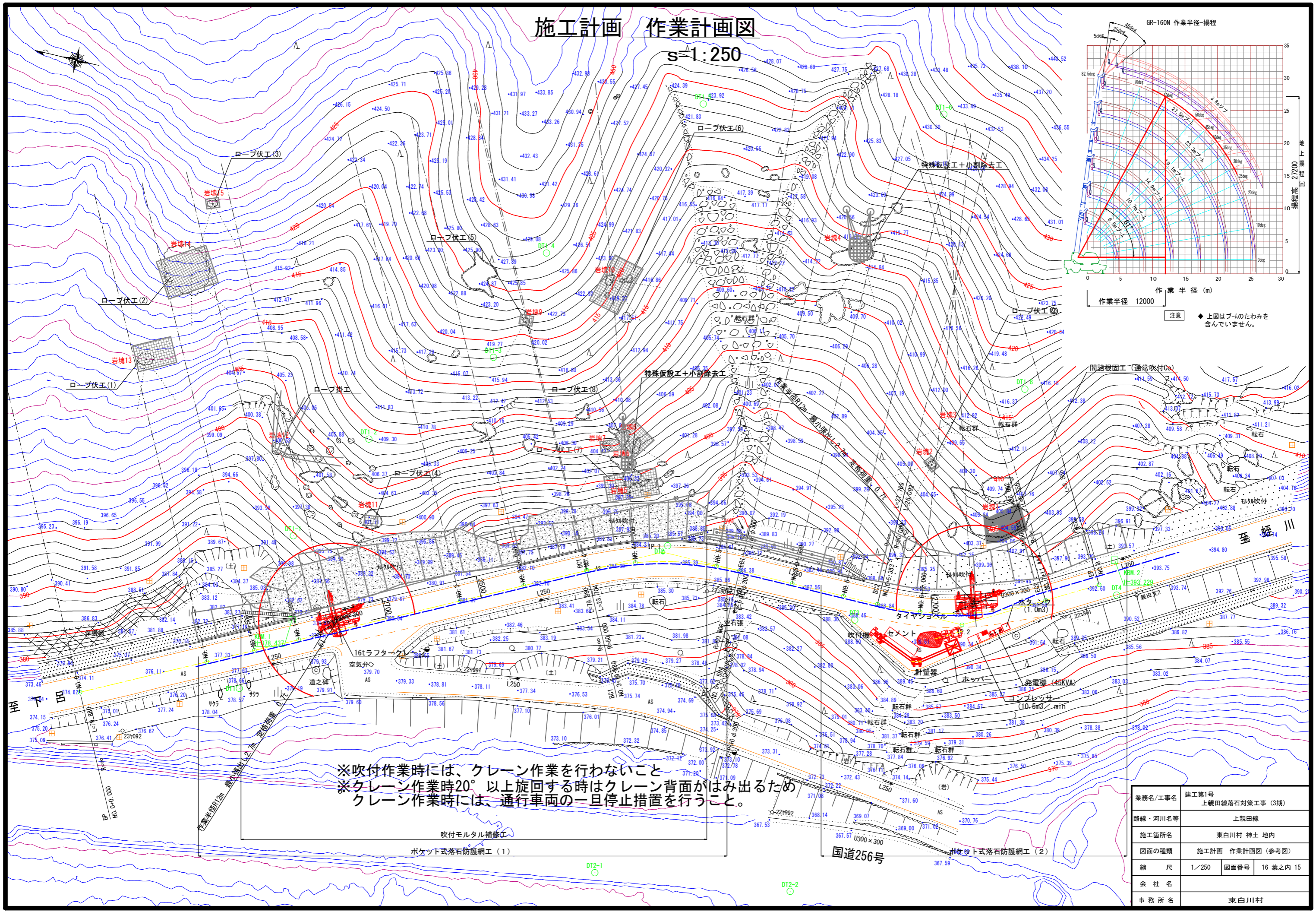
- 金網上端折り曲げ 0.2m
- 結合コイル使用数量
縦ロープ 5mに8ヶ
縦補助ロープ 5mに4ヶ
横ロープ 3mに4ヶ
最上段横ロープ 3mに8ヶ

※アンカーは全て岩部用の表記とする。施工時の打設箇所決定時にアンカーを再度選定する。
※縦止めアンカーは現地の架設状況によって設置を検討する。

業務名/工事名	建工第1号 上親田線落石対策工事 (3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	落石防護網工展開図 (2)		
縮尺	1/200	図面番号	16 葉之内 14
会社名			
事務所名	東白川村		

施工計画 作業計画図

s=1:250



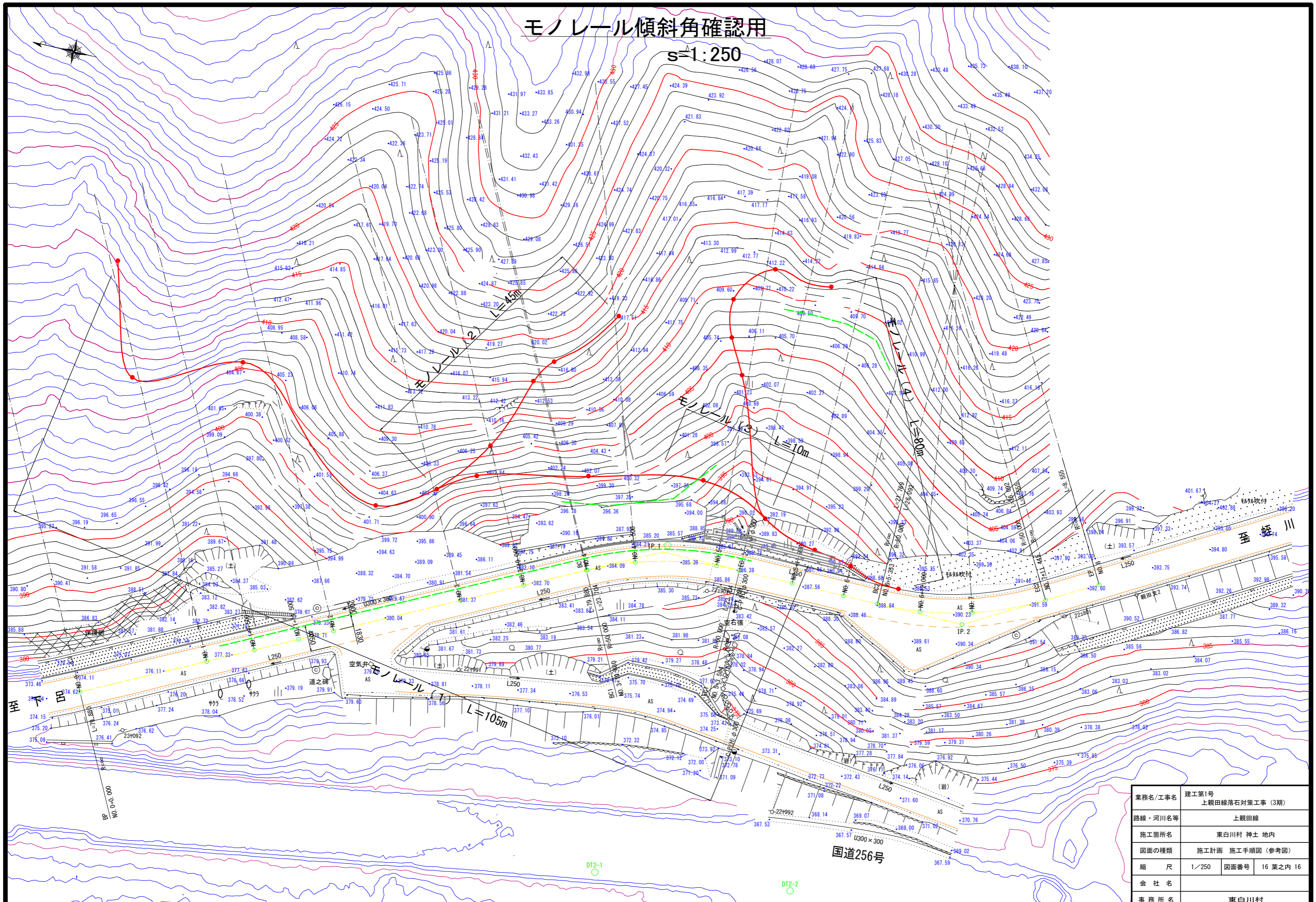
作業半径 (m)
作業半径 12000
注意 ◆上図はブルのたわみを含んでいません。

※吹付作業時には、クレーン作業を行わないこと
 ※クレーン作業時20°以上旋回する時はクレーン背面がはみ出るため
 クレーン作業時には、通行車両の一旦停止措置を行うこと。

業務名/工事名	建第1号 上親田線落石対策工事 (3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	施工計画 作業計画図 (参考図)		
縮尺	1/250	図面番号	16 葉之内 15
会社名			
事務所名	東白川村		

モノレール傾斜角確認用

s=1:250



業務名/工事名	建第1号 上親田線落石対策工事(3期)		
路線・河川名等	上親田線		
施工箇所名	東白川村 神土 地内		
図面の種類	施工計画 施工手順図(参考図)		
縮尺	1/250	図面番号	16 葉之内 16
会社名			
事務所名	東白川村		